

(活力を創る) - [戦略1] ビッグチャンスを生かす～県経済の力強い成長をリードします～

(1)現状と課題		(2)概要					(3)施策体系					(4)県民アンケート結果																																																																																																																																																																																																																																																						
<p>経済のグローバル化が急速に進む中で、国際競争を勝ち抜くために国内企業の海外移転などが広がっており、県内企業にもその影響が及んでいます。そのため、厳しい環境にある中小企業の経営支援強化、リーディング企業群の形成や企業集積など、積極的な取組みが必要です。</p> <p>九州新幹線の全線開業により、関西などからの観光客が大幅に増加しています。今後も、九州の中央に位置するという地理的優位性を生かしながら、自然や歴史・文化、阿蘇をはじめとする観光資源等を磨き上げ、つなぎ、発信し、いかに誘客につなげられるかが課題となっています。</p>		<p>九州新幹線の全線開業や熊本市の政令指定都市移行という、100年に一度のビッグチャンスを最大限に生かしながらい県経済の力強い成長をリードするため、地域を支える中小企業のチャレンジへの支援や、熊本発の新たな産業の展開、企業誘致に積極的に取り組みます。</p> <p>また、県内の観光資源やおもてなしに磨きをかけるとともに、九州観光の拠点として熊本を訪れ、九州内を周遊する観光スタイルを確立し、観光客の増大につなげます。</p>					<p>施策01</p> <p>◆中小企業のチャレンジをサポートする ～中小企業の挑戦への総合的な支援～ 【担当部局：商工観光労働部・土木部・出納局】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>11</td> <td>1,624,246千円</td> <td>H27</td> <td>11</td> <td>6,034,494千円</td> </tr> </table> <p>施策02</p> <p>◆創造的企業誘致を進める ～研究開発部門等を中心とした企業誘致の強化～ 【担当部局：商工観光労働部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>2</td> <td>37,443千円</td> <td>H27</td> <td>2</td> <td>41,416千円</td> </tr> </table> <p>施策03</p> <p>◆熊本イノベーションを進める ～熊本発の新製品の創出～ 【担当部局：商工観光労働部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>11</td> <td>166,562千円</td> <td>H27</td> <td>11</td> <td>243,577千円</td> </tr> </table> <p>施策04</p> <p>◆フードバレー構想で県南を活性化 ～県南地域のポテンシャルを生かした産業集積～ 【担当部局：企画振興部・商工観光労働部・農林水産部・土木部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>24</td> <td>5,587,601千円</td> <td>H27</td> <td>24</td> <td>4,802,608千円</td> </tr> </table> <p>施策05</p> <p>◆起業を応援する ～起業化に向けたチャレンジへの支援～ 【担当部局：商工観光労働部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>2</td> <td>20,666千円</td> <td>H27</td> <td>2</td> <td>19,654千円</td> </tr> </table> <p>施策06</p> <p>◆福祉を成長産業として支援する ～産業としての「福祉」ビジネスへの支援～ 【担当部局：健康福祉部・商工観光労働部・土木部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>12</td> <td>904,102千円</td> <td>H27</td> <td>12</td> <td>1,431,045千円</td> </tr> </table> <p>施策07</p> <p>◆観光客を呼び込む ～九州各県や市町村等との連携による観光誘客の促進～ 【担当部局：知事公室・総務部・商工観光労働部・農林水産部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>12</td> <td>485,730千円</td> <td>H27</td> <td>12</td> <td>495,865千円</td> </tr> </table> <p>施策08</p> <p>◆ストーリー性のある観光戦略を展開する ～熊本ならではの観光戦略の推進～ 【担当部局：商工観光労働部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3</td> <td>106,926千円</td> <td>H27</td> <td>3</td> <td>105,841千円</td> </tr> </table>					H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	11	1,624,246千円	H27	11	6,034,494千円	H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	2	37,443千円	H27	2	41,416千円	H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	11	166,562千円	H27	11	243,577千円	H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	24	5,587,601千円	H27	24	4,802,608千円	H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	2	20,666千円	H27	2	19,654千円	H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	12	904,102千円	H27	12	1,431,045千円	H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	12	485,730千円	H27	12	495,865千円	H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	3	106,926千円	H27	3	105,841千円	<p>①産業力の強化</p>					<p>②九州の観光拠点化</p>																																																																																																																																																	
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																																																																																																																																																																																																																																													
H26	11	1,624,246千円	H27	11	6,034,494千円																																																																																																																																																																																																																																																													
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																																																																																																																																																																																																																																													
H26	2	37,443千円	H27	2	41,416千円																																																																																																																																																																																																																																																													
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																																																																																																																																																																																																																																													
H26	11	166,562千円	H27	11	243,577千円																																																																																																																																																																																																																																																													
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																																																																																																																																																																																																																																													
H26	24	5,587,601千円	H27	24	4,802,608千円																																																																																																																																																																																																																																																													
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																																																																																																																																																																																																																																													
H26	2	20,666千円	H27	2	19,654千円																																																																																																																																																																																																																																																													
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																																																																																																																																																																																																																																													
H26	12	904,102千円	H27	12	1,431,045千円																																																																																																																																																																																																																																																													
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																																																																																																																																																																																																																																													
H26	12	485,730千円	H27	12	495,865千円																																																																																																																																																																																																																																																													
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																																																																																																																																																																																																																																																													
H26	3	106,926千円	H27	3	105,841千円																																																																																																																																																																																																																																																													
<p>★戦略指標【単位】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>策定時</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">i</td> <td>リーディング企業育成数【社】</td> <td>1 (H23)</td> <td>3 <15.0%></td> <td>3 <15.0%></td> <td>4 <20.0%></td> <td>20~30 【社(累計)】</td> </tr> <tr> <td>分析</td> <td colspan="5">H26年度に新たにリーディング企業となったリーディング育成企業は1社。目標値に対しては、まだ下回っているが、リーディング育成企業の付加価値額の平均年間伸び率は、21.8%であり、全体的に増加傾向である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ii</td> <td>企業立地件数【件】</td> <td>91 (H20~H23)</td> <td>30 <30.0%></td> <td>67 <67.0%></td> <td>102 <102.0%></td> <td>100 【件/4年(累計)】</td> </tr> <tr> <td>分析</td> <td colspan="5">ターゲットを絞った戦略的な企業誘致と既立地企業へのフォローアップの徹底により、H26年度の目標を上回った。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>企業立地による新規雇用予定者数【人】</td> <td>5,299 (H20~H23)</td> <td>1,213 <22.1%></td> <td>2,015 <36.6%></td> <td>3,065 <55.7%></td> <td>5,500 【人/4年(累計)】</td> </tr> <tr> <td>分析</td> <td colspan="5">設備投資等による業務効率化などによって、企業立地件数に対し1件あたりの雇用予定者数が少なかったため、H26年度の目標を下回った。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">iii</td> <td>新たな材料(有機薄膜、熊本Mg【補】等)を活用した商品の市場化件数【件】</td> <td>0 (H23)</td> <td>2 <20.0%></td> <td>5 <50.0%></td> <td>9 <90.0%></td> <td>10 【件:(累計)】</td> </tr> <tr> <td>分析</td> <td colspan="5">国や県の補助事業等の活用により取り組んできた開発が進み、KUMADAIマグネシウム合金のねじや有機EL照明を用いた製品など市場に出せる商品がでてきた。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">iv</td> <td>観光客総数【万人】</td> <td>5,723 (H22)</td> <td>5,920 <98.7%></td> <td>6,119 <102.0%></td> <td>5,899 <98.3%></td> <td>6,000 【万人/年:(単年)】</td> </tr> <tr> <td>分析</td> <td colspan="5">鳥インフルエンザ発生、夏の天候不良、阿蘇中岳の噴火活動等が影響し、前年まで増加傾向にあったものの、減少に転じた。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">v</td> <td>延べ宿泊者数【万人】</td> <td>647 (H22)</td> <td>663 <88.4%></td> <td>684 <91.2%></td> <td>692 <92.3%></td> <td>750 【万人/年:(単年)】</td> </tr> <tr> <td>分析</td> <td colspan="5">外国人観光客の増加に伴い、宿泊者数は着実に増加した。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">vi</td> <td>くまモンツイッターフォロワー数【万人】</td> <td>5 (H23)</td> <td>19 <126.7%></td> <td>33.6 <224.0%></td> <td>36.2 <241.3%></td> <td>15 【万人:(累計)】</td> </tr> <tr> <td>分析</td> <td colspan="5">くまモンの出勤情報を中心に積極的な情報発信を行い、H25年度末から、約2万6千人の増となった。</td> </tr> </tbody> </table>			策定時	H24	H25	H26	目標値	i	リーディング企業育成数【社】	1 (H23)	3 <15.0%>	3 <15.0%>	4 <20.0%>	20~30 【社(累計)】	分析	H26年度に新たにリーディング企業となったリーディング育成企業は1社。目標値に対しては、まだ下回っているが、リーディング育成企業の付加価値額の平均年間伸び率は、21.8%であり、全体的に増加傾向である。					ii	企業立地件数【件】	91 (H20~H23)	30 <30.0%>	67 <67.0%>	102 <102.0%>	100 【件/4年(累計)】	分析	ターゲットを絞った戦略的な企業誘致と既立地企業へのフォローアップの徹底により、H26年度の目標を上回った。						企業立地による新規雇用予定者数【人】	5,299 (H20~H23)	1,213 <22.1%>	2,015 <36.6%>	3,065 <55.7%>	5,500 【人/4年(累計)】	分析	設備投資等による業務効率化などによって、企業立地件数に対し1件あたりの雇用予定者数が少なかったため、H26年度の目標を下回った。					iii	新たな材料(有機薄膜、熊本Mg【補】等)を活用した商品の市場化件数【件】	0 (H23)	2 <20.0%>	5 <50.0%>	9 <90.0%>	10 【件:(累計)】	分析	国や県の補助事業等の活用により取り組んできた開発が進み、KUMADAIマグネシウム合金のねじや有機EL照明を用いた製品など市場に出せる商品がでてきた。					iv	観光客総数【万人】	5,723 (H22)	5,920 <98.7%>	6,119 <102.0%>	5,899 <98.3%>	6,000 【万人/年:(単年)】	分析	鳥インフルエンザ発生、夏の天候不良、阿蘇中岳の噴火活動等が影響し、前年まで増加傾向にあったものの、減少に転じた。					v	延べ宿泊者数【万人】	647 (H22)	663 <88.4%>	684 <91.2%>	692 <92.3%>	750 【万人/年:(単年)】	分析	外国人観光客の増加に伴い、宿泊者数は着実に増加した。					vi	くまモンツイッターフォロワー数【万人】	5 (H23)	19 <126.7%>	33.6 <224.0%>	36.2 <241.3%>	15 【万人:(累計)】	分析	くまモンの出勤情報を中心に積極的な情報発信を行い、H25年度末から、約2万6千人の増となった。					<p>【満足度】</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満足</th> <th>不満足</th> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2.9</td> <td>15.3</td> <td>50.3</td> <td>22.4</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.1</td> <td>16.5</td> <td>50.8</td> <td>24.6</td> </tr> </table> <p>【今後の方向性】</p> <p>1.0 (%)</p> <p>28.1</p> <p>70.9</p> <p>(4位)</p>					年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足	H27	2.9	15.3	50.3	22.4	H26	3.1	16.5	50.8	24.6	<p>【満足度】</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満足</th> <th>不満足</th> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2.8</td> <td>13.4</td> <td>52.6</td> <td>22.7</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3.6</td> <td>17.3</td> <td>51.6</td> <td>20.5</td> </tr> </table> <p>【今後の方向性】</p> <p>2.2 (%)</p> <p>29.5</p> <p>68.3</p> <p>(5位)</p>					年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足	H27	2.8	13.4	52.6	22.7	H26	3.6	17.3	51.6	20.5	<p>【満足度】</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満足</th> <th>不満足</th> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>5.7</td> <td>28.8</td> <td>43.7</td> <td>17.5</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>8.6</td> <td>32.1</td> <td>40.9</td> <td>13.7</td> </tr> </table> <p>【今後の方向性】</p> <p>1.0 (%)</p> <p>27.9</p> <p>71.1</p> <p>(3位)</p>					年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足	H27	5.7	28.8	43.7	17.5	H26	8.6	32.1	40.9	13.7	<p>【満足度】</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満足</th> <th>不満足</th> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>4.2</td> <td>14.8</td> <td>58.6</td> <td>16.6</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>4.4</td> <td>15.0</td> <td>58.3</td> <td>16.9</td> </tr> </table> <p>【今後の方向性】</p> <p>2.5 (%)</p> <p>40.1</p> <p>57.4</p> <p>(8位)</p>					年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足	H27	4.2	14.8	58.6	16.6	H26	4.4	15.0	58.3	16.9	<p>【満足度】</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満足</th> <th>不満足</th> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>2.9</td> <td>16.0</td> <td>56.4</td> <td>18.8</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>4.6</td> <td>13.3</td> <td>57.1</td> <td>18.9</td> </tr> </table> <p>【今後の方向性】</p> <p>1.6 (%)</p> <p>37.4</p> <p>61.0</p> <p>(7位)</p>					年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足	H27	2.9	16.0	56.4	18.8	H26	4.6	13.3	57.1	18.9	<p>【満足度】</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満足</th> <th>不満足</th> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>4.0</td> <td>16.9</td> <td>47.6</td> <td>23.8</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>5.9</td> <td>18.6</td> <td>47.4</td> <td>21.6</td> </tr> </table> <p>【今後の方向性】</p> <p>1.9 (%)</p> <p>33.7</p> <p>64.4</p> <p>(6位)</p>					年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足	H27	4.0	16.9	47.6	23.8	H26	5.9	18.6	47.4	21.6	<p>【満足度】</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満足</th> <th>不満足</th> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>9.9</td> <td>31.0</td> <td>30.6</td> <td>19.0</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>10.5</td> <td>31.1</td> <td>27.8</td> <td>23.0</td> </tr> </table> <p>【今後の方向性】</p> <p>1.3 (%)</p> <p>22.0</p> <p>76.7</p> <p>(1位)</p>					年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足	H27	9.9	31.0	30.6	19.0	H26	10.5	31.1	27.8	23.0	<p>【満足度】</p> <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>満足</th> <th>やや満足</th> <th>やや不満足</th> <th>不満足</th> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>9.3</td> <td>23.7</td> <td>39.3</td> <td>20.1</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>7.9</td> <td>24.9</td> <td>38.7</td> <td>22.3</td> </tr> </table> <p>【今後の方向性】</p> <p>1.2 (%)</p> <p>24.2</p> <p>74.6</p> <p>(2位)</p>					年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足	H27	9.3	23.7	39.3	20.1	H26	7.9	24.9	38.7	22.3
	策定時	H24	H25	H26	目標値																																																																																																																																																																																																																																																													
i	リーディング企業育成数【社】	1 (H23)	3 <15.0%>	3 <15.0%>	4 <20.0%>	20~30 【社(累計)】																																																																																																																																																																																																																																																												
	分析	H26年度に新たにリーディング企業となったリーディング育成企業は1社。目標値に対しては、まだ下回っているが、リーディング育成企業の付加価値額の平均年間伸び率は、21.8%であり、全体的に増加傾向である。																																																																																																																																																																																																																																																																
ii	企業立地件数【件】	91 (H20~H23)	30 <30.0%>	67 <67.0%>	102 <102.0%>	100 【件/4年(累計)】																																																																																																																																																																																																																																																												
	分析	ターゲットを絞った戦略的な企業誘致と既立地企業へのフォローアップの徹底により、H26年度の目標を上回った。																																																																																																																																																																																																																																																																
	企業立地による新規雇用予定者数【人】	5,299 (H20~H23)	1,213 <22.1%>	2,015 <36.6%>	3,065 <55.7%>	5,500 【人/4年(累計)】																																																																																																																																																																																																																																																												
	分析	設備投資等による業務効率化などによって、企業立地件数に対し1件あたりの雇用予定者数が少なかったため、H26年度の目標を下回った。																																																																																																																																																																																																																																																																
iii	新たな材料(有機薄膜、熊本Mg【補】等)を活用した商品の市場化件数【件】	0 (H23)	2 <20.0%>	5 <50.0%>	9 <90.0%>	10 【件:(累計)】																																																																																																																																																																																																																																																												
	分析	国や県の補助事業等の活用により取り組んできた開発が進み、KUMADAIマグネシウム合金のねじや有機EL照明を用いた製品など市場に出せる商品がでてきた。																																																																																																																																																																																																																																																																
iv	観光客総数【万人】	5,723 (H22)	5,920 <98.7%>	6,119 <102.0%>	5,899 <98.3%>	6,000 【万人/年:(単年)】																																																																																																																																																																																																																																																												
	分析	鳥インフルエンザ発生、夏の天候不良、阿蘇中岳の噴火活動等が影響し、前年まで増加傾向にあったものの、減少に転じた。																																																																																																																																																																																																																																																																
v	延べ宿泊者数【万人】	647 (H22)	663 <88.4%>	684 <91.2%>	692 <92.3%>	750 【万人/年:(単年)】																																																																																																																																																																																																																																																												
	分析	外国人観光客の増加に伴い、宿泊者数は着実に増加した。																																																																																																																																																																																																																																																																
vi	くまモンツイッターフォロワー数【万人】	5 (H23)	19 <126.7%>	33.6 <224.0%>	36.2 <241.3%>	15 【万人:(累計)】																																																																																																																																																																																																																																																												
	分析	くまモンの出勤情報を中心に積極的な情報発信を行い、H25年度末から、約2万6千人の増となった。																																																																																																																																																																																																																																																																
年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足																																																																																																																																																																																																																																																														
H27	2.9	15.3	50.3	22.4																																																																																																																																																																																																																																																														
H26	3.1	16.5	50.8	24.6																																																																																																																																																																																																																																																														
年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足																																																																																																																																																																																																																																																														
H27	2.8	13.4	52.6	22.7																																																																																																																																																																																																																																																														
H26	3.6	17.3	51.6	20.5																																																																																																																																																																																																																																																														
年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足																																																																																																																																																																																																																																																														
H27	5.7	28.8	43.7	17.5																																																																																																																																																																																																																																																														
H26	8.6	32.1	40.9	13.7																																																																																																																																																																																																																																																														
年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足																																																																																																																																																																																																																																																														
H27	4.2	14.8	58.6	16.6																																																																																																																																																																																																																																																														
H26	4.4	15.0	58.3	16.9																																																																																																																																																																																																																																																														
年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足																																																																																																																																																																																																																																																														
H27	2.9	16.0	56.4	18.8																																																																																																																																																																																																																																																														
H26	4.6	13.3	57.1	18.9																																																																																																																																																																																																																																																														
年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足																																																																																																																																																																																																																																																														
H27	4.0	16.9	47.6	23.8																																																																																																																																																																																																																																																														
H26	5.9	18.6	47.4	21.6																																																																																																																																																																																																																																																														
年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足																																																																																																																																																																																																																																																														
H27	9.9	31.0	30.6	19.0																																																																																																																																																																																																																																																														
H26	10.5	31.1	27.8	23.0																																																																																																																																																																																																																																																														
年度	満足	やや満足	やや不満足	不満足																																																																																																																																																																																																																																																														
H27	9.3	23.7	39.3	20.1																																																																																																																																																																																																																																																														
H26	7.9	24.9	38.7	22.3																																																																																																																																																																																																																																																														

[戦略1]ビッグチャンスを生かす

No.	(5)平成26年度の主な成果	(6)問題点(隘路)・課題	(7)平成27年度の推進方針等
<p>施策01</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門家チームの複数の視点から、約30社の中小企業が抱える経営課題の抽出及び継続的な指導・支援を行い、経営基盤の強化等に貢献 金融と経営の一体的・継続的支援を行う融資制度を拡充し、中小企業の経営力強化、創業・事業承継を推進(関係資金計 239件、1,396百万円) リーディング育成企業に対し、産学官金のサポートチームによる総合的な支援を実施するとともに、新たに6社を認定 市町村に対し、文書や会議等で県内中小企業への発注機会の増大について協力を依頼。なお、9市町で中小企業振興に係る条例を制定 	<ul style="list-style-type: none"> リーディング企業の創出に向けて、新たな事業展開等に積極的に挑戦する企業の掘り起こしが必要 融資制度の利用促進を図るとともに、商工団体と金融機関の一層の連携による小規模企業への支援の強化が必要 リーディング企業を創出するため、支援制度や支援体制を充実させるなど、付加価値額の増加につながる取組の加速化が必要 条例が改正されたため、改正内容を含め、市町村等への周知の強化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 高い技術力を持つ県内企業は多いことから、これらの県内企業と大手企業とのニーズをマッチングする機会を創出 金融と経営の一体的・継続的支援を行う融資制度の利用を促進し、企業の創業・事業承継や経営力強化を推進するとともに、小規模企業向け資金を拡充 よりリーディング企業に近い企業に支援を集中するため、リーディング育成企業を対象として海外への販路開拓等を支援 市町村、企業、商工団体等に対する会議や説明会等の機会を活用し、条例の趣旨や改正について更なる周知を推進 	
<p>施策02</p> <ul style="list-style-type: none"> 知事トップセミナーや企業誘致可能性調査等による新規企業誘致、本県に立地する既立地企業の拠点性向上に向けた誘致活動を実施した結果、企業誘致件数が35件(うち研究開発部門が6件)、新規雇用予定者数が1,050人となり、本県の拠点性が向上 	<ul style="list-style-type: none"> 海外進出や国内拠点の再編・集約が加速し、国内の新規投資・雇用が厳しいため、ターゲットを絞った企業誘致が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 新規ターゲットの絞り込みと既立地企業へのフォローアップを徹底し、企業の新規投資先として「選ばれる熊本」をめざして戦略的かつ積極的な誘致活動を展開 	
<p>施策03</p> <ul style="list-style-type: none"> 急速充電器5基、普通充電器26基を整備し、計画に基づく設置(急速充電器14基、普通充電器80基)が完了したことで、電気自動車利用者の利便性が向上 燃料電池自動車(FCV)及び水素ステーションの初期需要創出、関連産業の育成・振興を目的とした「熊本県燃料電池自動車普及促進計画」を策定 県内企業による次世代耐熱70℃以上合金の事業化に向けた2件の試作品開発を支援。また、展示会に出展(13回)し、77%リサイクルの開発ニーズの収集、販路開拓を推進 有機薄膜に関し、国等の補助金の活用による研究開発力の強化、県補助金の活用による実用化に向けた企業の試作品開発(3件)を支援 	<ul style="list-style-type: none"> 電気自動車の航続距離が短く利便性に課題があるため、民間等による充電器整備の更なる促進が必要 県内事業者等と連携し、県内におけるFCVの初期需要の創出が必要 次世代マグネシウム合金の加工には高度な技術を要することや未開市場(新材料市場)の開拓という点で、企業の参入に高いリスクが存在 産産・産学のマッチングや技術移転に向けた活動の強化に加え、協議会活動の活発化や企業による試作品の開発・製造の支援が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 県のEV・PHVタウン構想に基づき、国補助金を活用した民間等による充電器整備を促進 FCVの初期需要の創出に向け、県が率先してFCV及びパッケージ型の水素ステーションを導入し、普及啓発に活用 事業化案件創出に向けた取組を支援するとともに、県内企業連携によるアプリケーション開発の取組を重点的に支援 国のプロジェクトなどにより研究開発資金を確保し、産学官連携の共同研究を継続して推進 	
<p>施策04</p> <ul style="list-style-type: none"> くまもと県南フードバレー推進協議会の複数の会員が連携し、販路拡大や商品開発等に取り組む「研究会」等の活動を行い、新商品開発や販路開拓に向けた13活動を実施 福岡県の(株)西鉄ストア店舗内に県南地域の産品を取り扱う「くまもと産直市場」を設置(8店舗、出荷事業者 約50事業者) 県南地域において食品関連企業を3件誘致。農業分野へ企業等が3件新規参入 企業や農業者のニーズに対応し、オープンイノベーションの拠点となるフードバレーアグリビジネスセンターを整備 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の事業者(協議会会員等)の情報を十分に把握できていないため、事業者との接触の機会を増やす必要 事業者の主体的な動きを活発化させるため、県や市町村、協議会の事業等の活用を促進する取組が必要 食品関連企業等に対して、県南地域の利点を直接PRすることや、既農業参入企業に対する営農安定化等の支援が必要 県南地域の農業者等と県外企業とのビジネス化に向けた支援を行うため、センターの認知度向上を図り、大都市圏にPRしていくことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の会員訪問など、会員との接触する機会を増やし、地域における取組やニーズの把握を推進 協議会会員による成功事例を輩出し、地域や同業者の意識高揚を図ることにより、事業者の主体的な動きを活発化 既調査に基づき、引き続きターゲット企業に対し、誘致活動を展開。また、企業等の農業新規参入に向けた情報提供も実施 センターの機能を活用し、県南地域の6次産業化や担い手の育成を推進。また、シンパティザによる大都市圏へのPR、県外企業との連携支援を実施 	
<p>施策05</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内3箇所に設置しているインキュベーション施設「夢挑戦プラザ」にて創業予定者及びベンチャー企業延べ22社を受け入れ、創業を支援 	<ul style="list-style-type: none"> 創業や企業成長の支援に向け、インキュベーション施設の有効活用を図るため、商工会や商工会議所、企業等に対してPRの強化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し、引き続き創業予定者やベンチャー企業等に対するインキュベーション施設の提供を推進 	
<p>施策06</p> <ul style="list-style-type: none"> 長寿を支える地域の介護職員等研修支援事業や介護職員人材確保支援事業(地域人づくり事業)を活用し、延べ23法人が34人の介護職員を雇用 	<ul style="list-style-type: none"> 質の高い人材の安定的確保・定着のため、介護職のイメージ向上や処遇・勤務環境の改善に向けた継続的取組が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 介護職のイメージアップを図るため、広報啓発、職場体験等の取組を実施し、介護職の魅力等をPR 	
<p>施策07</p> <ul style="list-style-type: none"> JR九州・西日本等とのタイアップにより「リメンバー九州」キャンペーンやくまもと観光キャンペーン「アリスインワンダーランド熊本」を展開 市町村等と連携しながら、スポーツイベント4件(約4,500人の宿泊)、大型コンサート3件(約30,200人の集客)、映画ロケ4件を誘致 各地域の宝(観光素材)を旅行商品化するために必要な視点を学ぶ「くまもと観光リーダーズ研修」を実施し、延べ76人参加が参加 くまモンイラストの利用許諾件数累計19,000件超(H27.3月末現在)、H26年のくまモン利用商品の売上高は643億円超、くまモンツイッターフォロワー数は36万人超を達成 	<ul style="list-style-type: none"> JR九州・西日本、九州各県等関係者の理解と協力、連携が必要 施設の充実度、交通アクセスに勝る福岡市の施設と競合するため、効果的なPRを行うなど誘致の強化が必要 「くまもと観光リーダーズ研修」の研修成果を着地型旅行商品の造成につなげることが必要 くまモン関連商品の海外輸出や海外でのプロモーションの円滑な実施のため、商標登録・管理等の体制整備・強化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、九州各県や交通事業者と連携した観光キャンペーンを展開 助成事業を最大限活用し、県へのスポーツイベント、大型コンサート、映像作品制作の誘致を強化 旅行商品を造成できる人材を増やすため、引き続き、民間の専門家を講師に迎えた研修会を継続して開催 国内外においてくまモンの商標を適切に管理し、持続可能な事業実施方法を検討 	
<p>施策08</p> <ul style="list-style-type: none"> 阿蘇の温泉を活用した新しい温泉プログラム(杖立流Neo湯治、阿蘇内牧美UPプログラム、黒川温泉美肌モンプログラム)を開発 各地の歴史・文化等を活用したバスツアー「熊本再発見の旅」を催行し、117人(延べ4台催行)が参加 京都府長岡市など、19府県市町で構成する「NHK大河ドラマ誘致推進協議会」による大河ドラマ誘致に係るリレーイベントにくまモンを出動させ、本県の効果的なPRを行うなど、関西をターゲットとした大河ドラマ誘致に向けた取組を推進 	<ul style="list-style-type: none"> 各種温泉プログラムを継続的な取組にするため、更なる誘客を進めるための広報展開が必要 歴史・文化を活用し誘客するためには強力なフックが必要 固定ファンが多い大河ドラマは、誘致に取り組む自治体が多く、競争率が高い状況 	<ul style="list-style-type: none"> 阿蘇地域の「温泉地」を活性化させるため、開発した各種温泉プログラム販売強化のための広報を展開 世界遺産登録に合わせ、世界遺産(候補)、世界ジオパーク等を活用した観光キャンペーンを展開 19府県市町の自治体で構成される「NHK大河ドラマ誘致推進協議会」を活用するなど、大河ドラマ誘致を推進 	